



## 研究部会報告

### ● 意思決定法 ●

部会 URL : <https://sites.google.com/site/decisionorsj/>

・第37回

日 時 : 2016年9月3日(土) 14:00~16:00

場 所 : 中京大学名古屋キャンパス07D教室

(名古屋市中昭和区八事本町101-2)

出席者 : 9名

テーマと講師、及び概要 :

(1) 「行政評価と行政経営」

佐藤祐司 (中京大学)

本報告では、自治体が行う自己評価としての行政評価に科学的な根拠を与える仕組みとして、施策の政策に対する寄与度を基に目標への接近度を定量化する評価の枠組みを提案した。その枠組みをある地方自治体の行政評価に適用して得たフィードバックを基に、実際の行政経営にどのような効果をもたらすかについて議論が交わされた。

(2) 「AHPにおける整合性を考慮した代替案ウエイト算出の提案」

西澤一友 (日本大学)

AHPの一对比較において、整合性が良くないと判断された場合のウエイト調整方法を提案した。従来のAHPでは整合性が良くないと判定された場合、一对比較のやり直しを行うことを推奨している。しかし、再度の一对比較は恣意的で好ましくない。そこで、得られた整合性の良くないウエイトについて、有向グラフによる整合性の判断と主固有値の値を基にした調整手法を提案した。

### ● 数理的発想とその実践 ●

・第8回

日 時 : 2016年10月1日(土) 14:20~17:00

場 所 : サイエンスヒルズこまつ こまつビジネス創造プラザ・セミナールームA

(石川県小松市こまつの杜2)

出席者 : 10名

テーマと講師、及び概要 :

(1) 「リカレント教育における英語村 (イングリッシュ・キャンプ) の実践と成果」

島内俊彦, 金子宏之 (小松短期大学地域創造学科)

近年多くの大学・高校等で英語村 (イングリッシュ・キャンプ) とよばれるプロジェクトが行われている。本報告では、リカレント学生向けに試行的に実施した英語村のアンケート回答文をテキストマニングにより解析し、学生が英語村を通じてTOEICスコアが高くなくてもコミュニケーションができることを実感したことを示した。

(2) 「こまつミュージアム・パスの利用促進について—モニターツアーのアンケート結果にもとづく考察—」

金子宏之 (小松短期大学地域創造学科)

本報告では、学内の地域貢献事業の一環として実施されたミュージアム・パス・モニターツアーにおける学生アンケート回答文や感想文のテキストマニングによる解析結果を示した。その中で、ミュージアム・パス利用促進のためには、年齢が低いうちから芸術品や文化財を鑑賞する機会を重ねることが重要であると結論づけた。

(3) 「データ科学手法の物質関連分野への応用」

林 亮子 (金沢工業大学工学部情報工学科)

近年データ科学が様々な応用分野で注目されているが、物質関連分野でも、2011年に米国政府が物質・材料開発の短期化と低コスト化を目指すMGIを立ち上げてから、世界中でデータ科学の物質関連分野への応用が活発になってきている。本講演では関連分野の概況を紹介し、現在の取り組みと今後の展望を述べた。